

石 二 小 だ よ り

第64号 平成29年2月21日(火)発行 文責:鈴木宣雄

【電話】0244-22-2724【ホームページ】http://www.minamisoma.gr.fks.ed.jp/?page_id=145

平成28年度重点目標「考えをつたえ合おう」

Let's dance together!

14日(火)には、東京のエイベックスからKYO-HEYさんとAOIさんが来校され、2・5・6年生を対象にダンス教室を行いました。初めはステップを教わり、だんだんと手足や体全体を使ったダンスに進んでいきました。いろいろな振り付けも教わりながら、ビートのきいたアップテンポな曲に合わせてダンスを進めました。最初のうちは、振り付けを覚えるのが大変でしたが、慣れてくると曲に合わせて体を動かせるようになってきました。お二人のキレのある動きのダンスをお手本にして1曲通して踊ると、結構な運動量になります。1時間程のレッスンでしたが、汗ばむくらい体を動かしました。普段の授業では、1時間通して踊るといことはなかなかないので、子どもたちも楽しく取り組むことができました。みんなで気持ちのよい汗を流すことができました。



奉仕作業へのご協力ありがとうございました



18日(土)には、今年度3回目のPTA奉仕作業を行いました。朝早くからたくさんの皆さんにご協力いただき、本当にありがとうございました。今回は、卒業式に向けて、校舎の窓ガラスを磨く作業を中心に行いました。雨風にさらされて、窓ガラスは結構汚れているものです。特に高い所は子どもたちの手が届かないので、保護者の皆さんに磨いていただいととても助かりました。おかげさまで、窓ガラスがぴかぴかになり、校舎内が一段と明るくなったような気がします。卒業式まであと1か月余りになりました。6年生の教室からは、卒業式に歌う歌を練習する声が聞こえてくるようになりました。石神二小の校舎から6年生が巣立つ日までもう少しになってきました。

《裏面もご覧ください》

◆ 先日、市内の中学2年生の女子生徒が自殺した大変痛ましい事案を受けて、本校では、全児童・保護者を対象とした緊急アンケートを行います。記名式になっていますが、氏名を記入したくない場合は無記名でも結構です。24日（金）まで学校へ提出して下さるようお願いいたします。

昨年10月に、文部科学省からいじめに関する調査結果が発表されました。それによると、小学校では約15万件を超え、過去最多になったことが分かりました。文部科学省では、「いじめ」を次のように定義しています。

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的、形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。

「いじめ」とは、当該児童生徒が、一定の人眼関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」とする。なお、起こった場所は、学校の内外を問わない。

今回の調査の結果、いじめの実態の上位には次のような行為があげられました。

- ① 冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる（62.2%）
- ② 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり蹴られたりする（25.6%）
- ③ 仲間はずれや集団による無視をされる（18.8%）
- ④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり蹴られたりする（9.0%）
- ⑤ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする（8.1%）

子どもたちの毎日の生活を見ていると、このような場面はないでしょうか。いじめた方は「いじめている」という意識は無くても、ちょっとしたからかいやいたずらなど、ふざけてやったつもりであっても、やられた方が「いじめられた」と感じれば、それは「いじめ」になるのです。何かふざけ合っているように見えても、一方がそれを苦痛に感じていけば、実はいじめだったということもあります。殴る、蹴るなどの暴力行為ばかりでなく、言葉による暴力（暴言）や無視もいじめになります。**いじめは、絶対に許されない行為です。**お互いの人格を尊重し、思いやりのある態度で接することができれば、いじめは少なくなっていくことでしょう。しかし、いじめられていると思った時、すぐに身近な人に相談できればいいのですが、またいじめられるのではないか、仕返しに怖いなどの思いが先に立ってしまい、先生や家族、友だちには打ち明けられずに一人で悩み、なかなか表に出にくい事例もあります。そんな時は、各種の相談窓口を利用するのも一つの方法です（17日付けで配付した文書をご覧ください）。私たちは「石神二小でのいじめゼロ」を目指しています。お子さんの様子で少しでも気になることがあったら、どんな小さなことでも構いませんので、いつでも担任へご相談ください。担任に話しにくい内容であれば、他の教職員やスクールカウンセラー等も対応しますので、遠慮なくご相談ください。子どもたちの心身ともに健全な育成のために、学校とご家庭がしっかり連携をとっていきたいと思っています。

